

令和3(2021)年度事業実績報告について

I 公益目的事業

1. 歩行訓練事業

中途失明等の視覚障害者が自力で歩行できるよう、歩行訓練士による歩行の訓練や白杖の選定相談など外出に関する相談様々な相談に対応した。

(1) 歩行訓練等

① 実施状況

白杖の基本操作、公共交通機関の利用など屋外歩行に必要な技術指導、手引き歩行の受け方など訓練を行った。

(訓練者数・訓練回数の推移)

区分	30年度 実績	元年度 実績	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画
訓練者数	27人	22人	22人	27人	35人
訓練回数	322回	291回	289回	256回	350回
1人当たりの 訓練回数	11.9回	13.2回	13.1回	9.4回	10.0回
その他白杖 選定等	70回	61回	125回	125回	120回

② 白杖選定等の訓練外の対応

白杖の選定や破損に関する相談に応じ、本人に適した白杖の選定、摩耗、破損した白杖の速やかな交換に対応した。また、白杖の用方法等に関する相談に対応する中で、必要に応じて、歩行訓練につないだ。

③ 令和3年度訓練者の状況

ア 男女別

男性 15人、女性 12人 計 27人

イ 区別

区分	中	東	南	西	安佐南	安佐北	安芸	佐伯	計
人数	5	3	2	3	7	6	1	0	27

ウ 年齢別

(ア) 訓練時の年齢

区分	30代	40代	50代	60代	70代	80代	計
人数	2	3	8	3	9	2	27

(説明)

- ・ 訓練時の年齢は、60代以上が14人で5割。

(イ) 手帳取得時の年齢

区分	20歳以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	計
人数	3	3	3	7	2	4	4	1	27

(説明)

- ・ 手帳取得時の年齢は、20代～50代が18名で7割。

エ 訓練目的

区分	自宅周辺の自力歩行	目的施設等までの自力歩行	通勤・通学	計
回数	218	15	23	256

(説明)

- ・ 訓練目的のほとんどは自宅周辺の自力歩行で、全体の8割を占めた。

オ 訓練に至る経緯

区分	医療機関 介護施設	福祉窓口	白杖選定等 の ための来所	計
人数	12	8	7	27

(説明)

- ・ 福祉窓口と医療、介護施設からの経緯が全体の7割を占めた。

(2) 視覚障害者の理解や援助技術普及のための講師活動等

① 視覚障害者のための研修講師

ア 広島市新規採用職員研修

11月8日、令和4年3月9日、11日、15日
イ 女学院中学授業（オンライン教材ビデオ撮影日）
11月2日

② 同行援護養成講座講師

ア 視障協

- ・一般課程 9月26日、10月2日、3日
- ・応用課程 10月10日、17日

イ 介護労働安定センター

- ・一般課程 11月14日、15日、16日
- ・応用課程 11月22日、23日

③ 視覚障害者の歩行の環境改善調査（まち点検に同行）

新型コロナウイルス感染拡大により、未実施

④ 各区の当事者団体の会合への参加

カナリヤの会 12月5日

西区身体障害者福祉協会 12月26日

⑤ 視覚障害者情報センターと一体的に行うとし、以下の項目について重点的に取り組んでいます。

ア 中途失明者等への総合的な支援窓口としての機能の強化
必要な支援の説明・紹介、手続機関・支援事業への接続等

イ 眼科医との連携強化

ウ 広島市立自立訓練施設（広島市立リハビリテーション病院内）
と歩行訓練事業との役割分担と連携

ア 支援窓口としての機能の強化については、情報センター並びに事務局とも連携を取り、切れ目のない支援を行う。

また、白杖を確認したいと希望される方で、来所が困難な方は訪問対応選定をしており、今年度は15件でした。

2. 社会参加促進事業

視覚障害者の社会参加を促進するため、以下の事業を実施した。

(1) 視覚障害者女性家庭生活訓練

ア 編物教室

新型コロナウイルス感染拡大により、実施時期を見直し開催

年間開催回数 24回→24回

参加者数 延94人 1回当たり 3.9人

イ 生花教室

新型コロナウイルス感染拡大により5~6月、9月、1~2月の開催中止。

年間開催回数 24回→11回

参加者数 延38人 1回当たり 3.5人

ウ 料理教室

新型コロナウイルス感染拡大により、5~6月、9月、1~2月の開催中止

年間開催回数 24回→11回（広島7回、可部4回）

参加者数 延45人（新人3人/可部） 1回当たり 4.1人

エ 研修会 年間開催回数 3回→1回

11月7日 「イスに座ってできるヨガ」

心障センターで開催 参加者数14人

(2) 視覚障害者青年等社会生活教室

ア 社会見学

新型コロナウイルス感染拡大により、開催中止

イ 講演会

新型コロナウイルス感染拡大により、開催中止

ウ コーラス教室

新型コロナウイルス感染拡大により、年12回→2回開催

心障センター音楽室で開催 参加者数24人

エ カラオケ教室

新型コロナウイルス感染拡大により、年間 12 回→3 回開催
西区地域福祉センターで開催 参加者数 9 人

オ パソコン教室 開催回数 6 回

11 月 22 日 午前・午後開催

心障センターで開催 参加者数 4 人

11 月 23 日 午前・午後開催

総合福祉センターで開催 参加者数 4 人

11 月 28 日 午前・午後開催

総合福祉センターで開催 参加者数 4 人

カ 研修会

新型コロナウイルス感染拡大により、開催中止

キ 福祉研修会

新型コロナウイルス感染拡大により、中国ブロック視覚障害者
福祉大会（広島市）は開催延期

(3) 中途失明者緊急生活訓練

ア 感覚訓練

新型コロナウイルス感染拡大により、開催中止

イ 点字教室

新型コロナウイルス感染拡大により、5～6 月、9 月、1～2 月の
開催中止

年間開催回数 24 回→7 回

参加者数 延 30 人 1 回当たり 4.3 人

(4) 身体障害者行動訓練

ア パソコン教室（応用編）開催回数 3 回

7 月 25 日 「iPhone をちょっと便利に使う方法」

総合福祉センターでの開催 参加者数 5 人

11 月 4 日 「パソコンで Zoom をしてみよう」

総合福祉センターでの開催 参加者数 5 人

12月12日 「iPhoneを簡単に操作する方法」

総合福祉センターでの開催 参加者数5人

イ ダンス教室

新型コロナウイルス感染拡大により、5～6月、9月、1～2月の開催中止

西区地域福祉センターで開催 年間開催回数12回→3回

参加者数 延15人 1回当たり 5.0人

(5) グランドソフトボール振興

新型コロナウイルス感染拡大により、実施時期を見直し開催 中央特別支援学校グラウンドで開催

年間開催回数 12回→12回 参加者数 延211人

(6) 視覚障害スポーツ振興

ア ボウリング

年間開催回数3回 広電ボウル・パークレーン

参加者数 延6人

イ ゴルフ

年間開催回数3回 高陽ゴルフセンター

参加者数 延12人

ウ テニス

新型コロナウイルス感染拡大により、開催中止

(7) 点字カラオケ機器貸出

新型コロナウイルス感染拡大により、5～6月、9月、1～2月の貸出中止

年間貸出回数 10回→2回

(8) 平和大学

新型コロナウイルス感染拡大により、開催中止

3. 視覚障害者ICT利活用支援(ボランティア養成・派遣)事業

視覚障害者のICT利活用を促進するため、視覚障害者が情報機器（音声パソコン、スマートフォン）を操作するための専門知識・技能を持つボランティアを養成し、障害者の自宅等に派遣して、その操作方法の指導・助言を行った。

(1) ICT利活用支援の利用状況

区分	30年度 実績	元年度 実績	2年度 実績	3年度 実績	4年度 予算
ア 利活用支援の 利用者数推移	42人	42人	27人	※11人 (うち新規2)	42人
				※28人	
				計39人	
イ 支援ボランテ ィア数の推移	28人	30人	23人	27人	30人
ウ 年間利用 回数の推移	1,325回	1,244回	625回	※33回	1,160回
				※364回	
				計397回	
エ 年間活動時間 数の推移 (ボランティア)	4,661H	4,298H	1,676H	※54H	3,955H
				※1,078H	
				計1,132H	
オ ボランティア 謝金・交通費 の推移	469万円	435万円	177万円	117万円	402万円

※3年度実績のア・ウ・エについては、上段：新運用（うち新規）、
下段：旧運用・その他不具合対応等の実績数値とする。

※令和4年度予算について、新運用利活用支援の実績がないため、
ア・イについては、令和元年度実績数値とする。

注:新型コロナウイルス感染拡大のためボランティア派遣休止:5/11
 ~7/11、8/4~10/31、1/8~3/6

(2) 3年度新運用の実績

ア 利用者向けパソコンマニュアル完成。

イ 利用者向け iPhone マニュアル完成。

ウ ヒアリング項目の見直しをする。

聞き取り項目が詳細であった為、必要最小項目に変更。

エ ボランティア派遣を2人体制(メイン・サブ)より、原則1人派遣に変更。

(3) 3年度利用者実績の内訳

区分	3年度 実績合計	操作取得支援 新運用	操作取得支援 旧運用	その他 不具合対応
ア 利用者数	※46人	PC: 0人	PC: 22人	PC: 5人
		iPhone:11人	iPhone:7人	iPhone:1人
イ 年間の利用者 回数	397回	PC: 0H	PC: 257回	PC: 8回
		iPhone:33回	iPhone:97回	iPhone:2回
ウ 年間の利用 者時間数	789H	PC: 0H	PC: 512H	PC: 15H
		iPhone:66H	iPhone:192H	iPhone:4H

※アの人数について、PC・iPhoneの重複利用者7人を含む。よって

「(1) 活用支援の利用状況、ア42人」と「内訳、利用者数46人」と人数が相違する。

4. 情報センター運営事業

視覚障害者向けの通信情報機器や日常生活用具を常設展示し、機器の体験のほか、情報提供、相談に応じた。また、新型コロナウイルス感染拡大防止に応じた、体験会も開催した。

(1) センター利用者数

区分	30年度 実績	元年度 実績	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画
年間利用者数の推移	2,033人	2,280人	1,500人	1,744人	2,200人
1日平均利用者数の推移	8.3人	9.3人	6.1人	7.1人	9.0人
電話による人数	547人	659人	848人	1,067人	900人
メールによる人数	上記に含む	上記に含む	上記に含む	20人	20人

注：新型コロナウイルス感染拡大のため、5/11～7/11・8/4～10/14・1/9～3/6まで来所での対応中止、7/1～12/13、2/8～は来所相談対応を縮小した。

(2) 主な展示物と展示数

展示品の一覧表を年1回発行し、配賦するとともに、引き続き、来所者の選択肢の幅が広げられるよう、展示品の充実を図った。

ア 補装具 白杖 24種

イ 日常生活用具 拡大読書器等 37種

ウ その他 時計等 100種 計 161種

注：広島県眼科医会から2年度に引続き展示機器11点貸出を受け展示物の更に充実が図られた。

(3) 情報センターだよりの発行視覚障害者向け用具や関連イベント、制度・サービス等を情報提供するため、情報センターだよりを隔月に発行、配布した。視障協会員の他、配布を希望する個人、各区保健福祉課、各区社協、包括支援センター、障害者相談支援（基幹）センター、当事者グループ、眼科医院等に配布（墨字700部、点字

250部、デジ―20枚発行)するとともに、音声版を広島市ホームページで公開した。

(4) センター主催のイベントの開催

① センターまつりの開催

新型コロナウイルス感染拡大のため、開催中止

② その他のイベントの開催

- ・ 小型拡大読書器フェア (7月)
- ・ 拡大読書器フェア (11月)
- ・ 音声腕時計・ICタグレコーダ体験会 (3月)

③ 外部イベントへの参加

新型コロナウイルス感染拡大のため、参加しなかった。

(5) ①当事者相談

区分	2年度実績	3年度実績	4年度計画
相談件数	5	6	12

これまでの相談者と1対1の相談に変え、月1回程度の交流会(サロン形式)を開催した。必要に応じて、個別の相談にも対応した。

- ・ 4月2日 情報センター事業と歩行訓練事業の共催

「お茶会サロン 白杖歩行で桜を体感しよう!」と題して平和公園にて歩行訓練を行ないました。参加者3名 当事者相談員1名

- ・ 令和3年6月~令和4年3月 お茶会サロンは開催中止

②広島大学病院眼科相談

- ・ 毎月第2・4水曜日 10:00~12:00

- ・ 令和3年7月28日から実施

- ・ 令和3年7月~令和4年3月 16回 相談件数 26件

病院内で眼科受診の患者さんを対象に相談員として周藤と馬屋原が交代で担当する。

5. 用具取扱あっせん事業

広島市の補装具・日常生活用具の指定事業者の指定を受け、視覚障害者が補装具や日常生活用具を購入する際の機種選定の相談、製造元への取次、自宅等への配達、機器の設定・操作方法の説明を行った。

(1) 売上額等の推移

単位：千円

区分	30年度 実績	元年度 実績	2年度 実績	3年度 実績	4年度 予算
売上額A	1,127万3	1,422万8	1,311万6	2,168万1	1,500万0
仕入額B	846万0	1,184万7	1,094万6	1,790万0	1,290万0
利益A-B	281万3	238万1	217万0	378万1	210万0
仕入比率B/A	75%	83%	83%	82.6%	86%

(2) 取扱あっせんしている主な用具

区分	30年度 実績	元年度 実績	2年度 実績	3年度 実績
第1位	ポータブル レコーダー 26件	ポータブル レコーダー 37件	音声時計 33件	拡大読書器 65件
第2位	拡大読書器 22件	拡大読書器 28件	血圧計 30件	ポータブル レコーダー 39件
第3位	パソコンソ フト11件	パソコンソ フト25件	体温計 26件	血圧計 36件

前年度までと比較し、日生具・実費購入の取扱件数と金額が著しく増加した。要因は以下の通り。

- ① メガネの田中が2年度末で日常生活用具取扱終了し顧客を引継ぐ
- ② 利益率の高い「拡大読書器」が過去最高の取扱件数となった。
- ③ 広島県眼科医会との連携強化による眼科からの紹介件数増加
- ④ 広島市立自立訓練施設の利用者への納品件数の増加

6. 点字版・音声版製作事業

広島市の広報誌「ひろしま市民と市政」、「市議会だより」をはじめ、各種パンフレット、説明資料等の点字印刷及び録音物の製作、発送を行った。

(収入額の推移)

単位：千円

区分	30年度 実績	元年度 実績	2年度 実績	3年度 実績	4年度 予算
点字製作 収入	200	772	1,457	6万6	63万5
録音製作 収入	4,959	6,764	6,484	669万5	598万9
計	515万9	753万6	776万1	676万1	662万4

(1) 点字版製作

- ア 平和宣言 2万4千円
- イ 「広島市シンポジウム」点訳資料 3万1千円
- ウ 点字入り名刺 8千円
- エ 広島ガス「ガス料金の手引き」点字印刷 3千円

(2) 音声版製作

- ア 市民と市政 538万0千円
 - ・1日号・15日号(年間24回)、四季号(年間4回)
 - ・CD87件、テープ45件 計132件(3年度末現在)
- イ 市議会だより 116万0千円
 - ・年間6回
 - ・CD76件、テープ46件 計122件(3年度末現在)
- ウ 広島市議会議員安芸区選挙区補欠選挙のお知らせ 15万5千円

7. 講師派遣・普及啓発事業

視覚障害者の理解や援助技術普及のため、行政や各種団体等へ講師を派遣した。「同行援護」従事者の養成研修を企画、開催した。

区分	2年度実績	3年度実績	4年度計画
①講師派遣	<ul style="list-style-type: none"> ・広島市研修センター ・介護労働安定センター ・女学院中学 	<ul style="list-style-type: none"> ・広島市研修センター ・介護労働安定センター ・女学院中学 	<ul style="list-style-type: none"> ・広島市研修センター ・介護労働安定センター ・市社協 ・女学院中学
②同行援護養成研修	<ul style="list-style-type: none"> ・開催 2回 (一般、応用各1回) ・受講者数 一般 5人 応用 5人 	<ul style="list-style-type: none"> ・開催 1回 (一般、応用各1回) ・受講者数 一般 7人 応用 3人 	<ul style="list-style-type: none"> ・開催 2回 (一般、応用各1回) ・受講者数 一般 10人 応用 5人
③治療奉仕	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問先 神田山長生園 ・治療参加者数 15人 	中止	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問先 神田山長生園

8. 調査・研究活動

視覚障害者の生活環境、移動等に関する調査を実施するほか、行政等が行う調査への協力を行う。

区分	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度実績	3年度計画

調査・研究活動の内容／まち点検	まち点検 広島駅新幹線・在来線ホーム	まち点検 広島駅から総合福祉センター、心障センター、マジウム周辺	まち点検 ・中筋駅、大町駅、大塚駅、西広島駅 ・平和公園レストハウス	中止	まち点検 西広島駅周辺。 (再開発地域)
-----------------	-----------------------	-------------------------------------	--	----	----------------------------

9. 陳情・要望活動

各種の大会等に出席し、全国の動向の把握に努めるとともに、他都市の団体との意見交換、交流を深める。こうした全国の状況を踏まえ、国、県、市及び関係機関に対し、本市の実態に即した視覚障害者の福祉の向上のための陳情、要望を行っている。

令和3年度予算で参加旅費を計上していた全大会が、新型コロナウイルス感染症の拡大により、オンライン開催となりました。

- ア 視覚障害者福祉大会 5月24日 YouTube配信(倉敷市)
- イ 弱視部(ロービジョン部)総会 7月3日 Zoom配信(東京)
- ウ 全国視覚障害女性研修大会 9月10日 オンライン開催(鹿児島)
- エ 全国視覚障害青年研修大会 9月19日・20日 Zoom配信(厚木)
- オ 中国ブロック視覚障害者福祉大会 9月25日・26日(広島市)延期
- カ 中国ブロック三療研修会 10月30日・31日(岡山)延期

II 収益事業—不動産賃貸

視障協が東区光町に所有する土地(138㎡)を駐車場として運用した。

月10千円×4人×12月＝年間収入48万0千円—固定資産税38万0千円
＝差引10万0千円

Ⅲ その他事業—相互扶助・他団体交流等事業

視障協会員を対象とした以下のような助成、行事等を行うと共に広島市や広島市身体障害者福祉団体連合会の事業に参画し連携を図った。

1. 相互扶助

① 女性部

ア 役員会 4月14日、総合福祉センターで開催。5人参加。

イ 総会 4月11日、総合福祉センターで開催。16人参加。

② 青年部

ア 第1回役員会 8月15日、電話会議システムで開催。

5人参加。

イ 総会 4月11日、心障センターで開催。14人参加。

ウ 第1回役員会 12月19日、心障センターで開催。5人参加。

エ 第3回役員会 3月13日、心障センターで開催。6人参加。

オ 監査会 3月13日、総合福祉センターで開催。5人参加。

③ 文化部 3月13日、心障センターで開催。

ア 中国ブロックオセロ大会予選会・カラオケ大会予選会の開催中止

イ 文化交流会の開催
開催中止

ウ 会員の広場「希望」の12月発行

④ 体育部

ア 会員グランドソフトボール大会
開催中止

イ 会員ブラインドテニス大会
開催中止

ウ 会員ボウリング大会
開催中止。

エ 中国ブロックグランドソフトボール大会
開催中止。

オ グランドソフトボール大会、マラソン大会、ブラインドゴルフ大会、ボウリング大会
開催中止。

(2) 視障協だよりの発行

毎月20日発行。248人の方（点字51人、墨字103人、メール94人／3月号実績）にお送りしています。

(3) 納涼交流会（ビアガーデン）の開催

開催中止

(4) 新年祝賀会の開催

開催中止

2. 他団体交流

(1) 日視連加盟団体への平和宣言送付

8月6日、送付。

(2) 広島市関係

① フラワーフェスティバル

ふれあいの広場 開催中止。

② 心障センター文化祭への参加

12月4日・5日に作品展示のみに縮小して開催。

④ マーガレットコンサートへの参加

2月20日 オンライン配信

⑤ 障害者スポーツ協会理事就任

6月19日 「決議の省略」

⑥ 各種スポーツ大会への参加

ア 陸上競技大会

開催中止。

イ ボウリング大会

開催中止。

ウ フライングディスク大会

開催中止。

エ グラウンドゴルフ大会

10月16日、西部埋立第五公園で開催

- オ 卓球大会
開催中止。
- カ 水泳大会
開催中止。
- キ 全国身体障害者スポーツ大会
開催中止。

(3) 広島市身体障害者福祉団体連合会関係

- ① 広島市身体障害者福祉大会への参加
開催中止
- ② 広島市への要望
開催中止
- ③ 障害者社会参加推進協議会への出席
8月31日 「決議の省略」
3月25日 開催
- ④ 理事会・定時総会への出席
 - ・ 5月7日、第1回理事会「決議の省略」
令和2年度事業報告及び計算書類等の承認
 - ・ 5月26日、第2理事会及び定時総会「決議の省略」
定時総会の決議の省略、理事の重任の定時総会への府議
表彰規程の改正
 - ・ 6月5日 第3回理事会 開催
会長及び副会長の選任
令和3年度市身連会長表彰被表彰者の決定
緊急事態宣言延長による広島市身体障害者福祉大会の開催対応
広島市への要望事項
 - ・ 7月9日 第4回理事会及び第1回臨時総会「決議の省略」
理事1名退任につきその承認及び後任の候補者の決定
 - ・ 7月16日 第5回理事会「決議の省略」
副会長の選定
 - ・ 10月23日 第6回理事会
 - ・ 補正予算
 - ・ R3年度上半期事業報告
 - ・ 職務執行報告
 - ・ 3月13日 理事会・総会 延期開催

- ⑤ 文化部会への出席
4月19日、総合福祉センターで開催。寺中会長出席。
 - ・第68回広島市身体障害者福祉大会について
 - ・文化研修会について
- ⑥ 政令市身体障害者福祉団体連絡協議会への参加
10月2日 オンライン開催
- ⑦ 第66回日本身体障害者福祉大会について
6月28日 ライブ配信
- ⑧ 施設見学会への参加
開催中止。
- ⑨ 中・四国身体障害者相談員研修会への参加
開催中止。
- ⑩ 中・四国身体障害者福祉大会への参加
開催中止。
- ⑪ 文化講演会への参加
11月27日、総合福祉センターで開催
- ⑫ ふれあい交流会（ボウリング大会）への参加
開催中止。

3. 物品あっせん

市身連とりまとめの物品のあっせんを行っていましたが、元年度から参加を見合わせています。

IV 法人会計

1. 理事・総会の開催

(1) 理事会

第1回

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、理事会は開催せず、6月8日、定款第35条（決議の省略）に基づく理事全員の書面による同意の意思表示により以下の議案を決議しました。

（議案）

- ・ 令和2（2020）年度事業報告及び決算について
- ・ 任期満了に伴う新たな理事選任及び総会への付議について
- ・ 令和3（2021）年度定時総会の開催について

第2回

- ア 開催日 令和3年6月27日（日）14：00～14：20
- イ 開催場所 広島市心身障害者福祉センター 会議室1・2
- ウ 出席者 14名
- オ （議案）
 - ・ 会長（代表理事）選定の件
 - ・ 副会長、常務理事、各部長選定の件

第3回

- ア 開催日 令和3年7月25日（日）10：00～11：20
- イ 開催場所 広島市心身障害者福祉センター 会議室3
- ウ 出席者 12名
- オ （報告）
 - ・ 各部の担当について
 - ・ 今後の行事予定について
 - ・ 役職員互助会について

第4回

- ア 開催日 令和3年10月24日（日）13：30～15：40
- イ 開催場所 広島市東区地域福祉センター ボランティア研修室
- ウ 出席者 12名
- オ （議案）
 - ・ 令和3年度上半期事業実施報告
 - ・ 令和3年度決算見込みについて
- （報告）
 - ・ 令和3年度職務の執行状況報告について
 - ・ 令和3年度月別行事・事業実施予定（状況）
 - ・ 「視障協だより」編集についての変更

第5回

- ア 開催日 令和4年3月27日（日）13：30～16：20

イ 開催場所 広島市心身障害者福祉センター 会議室 3

ウ 出席者 11名

オ (議案)

- ・令和4(2022)年度事業計画並びに令和4(2022)年度収支予算(報告)
- ・令和3年度職務の執行状況報告について
- ・令和4年度月別行事・事業実施予定

(2) 総会

新型コロナウイルス感染症の感染予防の観点から、限られた少人数の会員の出席により、以下のとおり開催しました。

また、例年、総会と同時に開催している広島市視覚障害者福祉大会については、こうした状況下での総会開催であることから同時開催は見送ることとしました。なお、広島市視覚障害者福祉大会と平和大学の同時開催を検討中です。ただし、最終的な開催の可否は今後の新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況等を見ながら判断します。

ア 開催日時

令和3年6月27日(日) 13:30~13:50

イ 開催場所

広島市心身障害者福祉センター 会議室1・2

ウ 議決権を有する正会員数 240人

エ 議決権を有する出席正会員数 149人

(出席15人、委任状提出134人)

オ (議案)

- ・令和2(2020)年度事業報告及び決算について
- ・任期満了に伴う新たな理事選任について

2. 令和3年度第70回中国ブロック視覚障害者福祉大会(広島市大会)

第1回実行委員会の開催

令和3年10月14日、広島市東区地域福祉センターで開催し、新年度実行委員による開催日・内容の確認。今後の新型コロナウイルス感染状況等見ながら、次回(第2回)開催内容を最終検討する。

(確認事項) 日程及び会場等。

- ・ 開催日時 令和4年9月24日→変更10日(土)、
25日→変更11日(日)
- ・ 開催会場 以下のとおりとし、仮押さえの手続きを行う。
 - ・ 9月24日→変更10日(土) 12:30から
広島市総合福祉センター
広島市心身障害者福祉センター
 - ・ 9月25日→変更11日(日) 13:00まで
- ・ (交流会)
広島ガーデンパレス

3 総務会(会長、副会長、常務理事、組織強化部長)の開催状況

- ① 5月9日(日) 14:00～
 - ・ 令和2年度決算について
 - ・ 新型コロナウイルス感染症対策
- ② 7月11日(日) 13:30～
 - ・ 各事業行事の開催について
 - ・ 組織強化部の活動について
 - ・ 役職員互助会のあり方について
 - ・ 視障協だよりに用具コーナー掲載
- ③ 8月3日(火) 電話にて持回り
 - ・ 新型コロナウイルス事業中止
- ④ 9月13日(月) 電話にて持回り
 - ・ 新型コロナウイルス事業中止
- ⑤ 10月1日(金) 電話にて持回り
 - ・ 新型コロナウイルス事業中止
- ⑥ 10月10日(日) 15:00～
 - ・ 第4回理事会案件説明等
- ⑦ 11月4日(土) 16:00～
 - ・ 中国ブロック会代表者協議会等
- ⑧ 1月22日(土) 16:00～
 - ・ 中国ブロック会代表者協議会
オンライン開催について
- ⑨ 1月28日(月) 電話にて持回り
 - ・ 新型コロナウイルス事業中止
(延長)
- ⑩ 2月21日(火) 電話にて持回り
 - ・ 新型コロナウイルス事業中止
(再延長)
- ⑪ 3月5日(日) 16:00～
 - ・ 令和4年度予算について
- ⑫ 3月7日(火) 電話にて持回り
 - ・ 新型コロナウイルス事業中止
(全部解除)